

### (3) 公認パラスポーツ医基準カリキュラム (19.5時間)

領域	講習科目	内容	時間
総論	公認パラスポーツ医の心得	公認パラスポーツ医としての役割と資格取得後の活動について学ぶ。	0.5
	国内外のパラスポーツの現状	国内外のパラスポーツの歴史と現状およびこれからの展望などを学ぶ。	1
	パラスポーツのアンチ・ドーピング ④1	最新のドーピング防止規則に関する情報について学び、選手が薬物摂取する時の留意事項やTUE申請、障がい別の傾向等を理解する。	1
	障がい者の病態生理の基本的理解とメディカルチェック ④2	障がい者の病態生理について理解を深め、スポーツの生理的作用や身体的効果について学ぶ。また障がい特性に留意したコンディショニングの把握に必要なメディカルチェックについて学ぶ。	1.5
	パラスポーツのクラス分け ④3	パラスポーツに特有のクラス分けについて、障がい部位とその程度に応じた身体機能の評価や、競技特性を考慮した評価など、現在のクラス分けについて学ぶ。	1
障害名論	肢体不自由の病理とスポーツ① (脊髄損傷、脊髄性障がい)	各障がいにおける医学的背景とその特性について学び、スポーツ実施上の留意点(リスク管理)について学ぶ。	1
	肢体不自由の病理とスポーツ② (脳性麻痺、脳原性障がい)		1
	肢体不自由の病理とスポーツ③ (切断欠損、関節障がい、その他の機能障がい)		1
	内部障がいの病理とスポーツ① (呼吸器、心臓疾患)		1
	内部障がいの病理とスポーツ② (消化器、腎臓疾患)		1
	視覚障がいの病理とスポーツ		1
	聴覚障がいの病理とスポーツ		1
	知的・発達障がいの病理とスポーツ		2
	精神障がいの病理とスポーツ		1
実技・体験	パラスポーツの最新情報 ④4	パラリンピック等の国際大会での帯同医としての取り組みや国内での大会医、相談医などにおける取組みの現状について学ぶ。	1
	全国障害者スポーツ大会の概要(障害区分の演習含む)	障がいのあるスポーツ未経験者や初心者の方のスポーツ参加への大きな動機づけになっている全国障害者スポーツ大会について学び、開催目的、参加資格、競技規則、実施競技、障害区分等を理解する。	1.5
	パラスポーツの体験	パラスポーツの実技をおこない、その競技特性や障がい特性を実感し、障がい者がスポーツを実施する際の留意点について学ぶ。	2
時間数			19.5時間

※④1～④4は公認パラスポーツ医有資格者の資格更新条件となる指定講習会を兼ねて実施する。